

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 4 月 16 日 (2009.4.16)

【公表番号】特表 2008-536448 (P2008-536448A)

【公表日】平成 20 年 9 月 4 日 (2008.9.4)

【年通号数】公開・登録公報 2008-035

【出願番号】特願 2008-506467 (P2008-506467)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/32 (2006.01)

H 0 4 N 11/04 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/137 Z

H 0 4 N 11/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 27 日 (2009.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像ブロックのためのビデオ信号データを符号化するための装置であって、前記ビデオ信号データの色成分を、それらに残差色変換を適用することなく符号化するための符号器を含む、前記装置。

【請求項 2】

前記符号器による前記色成分の符号化の前に前記ビデオ信号データの色成分上で色変換を選択的に実行するために、前記符号器と信号通信を行う符号器前色変換モジュールをさらに含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記符号器前色変換モジュールによって実行される前記色変換が、非残差色変換である、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記符号器前色変換モジュールが、前記ビデオ信号データに対応する原画像上で前記色変換を実行する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 5】

前記符号器前色変換モジュールが、R G B フォーマットまたは任意の非 R G B フォーマットで前記符号器に前記ビデオ信号データの変換色成分を提供する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 6】

前記符号器が、共通の予測器を使用して、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてを符号化する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記共通の予測器が、前記ビデオ信号データの輝度および色度成分の両方に対して使用される輝度予測器である、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記符号器が、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてに対して共通の空間予測モードを使用する、請求項 1 に記載の装置。

**【請求項 9】**

前記共通の空間予測モードが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H.264 規格の `prev__intra8x8__pred__mode__flag`、`rem__intra8x8__pred__mode`、`prev__intra4x4__pred__mode__flag`、および `rem__intra4x4__pred__mode` パラメータによって設定される、請求項 8 に記載の装置。

**【請求項 10】**

前記符号器が、B フレームおよび P フレームについて、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてに対して共通の補間フィルタを使用する、請求項 1 に記載の装置。

**【請求項 11】**

前記ビデオ信号データのサンプリングが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H.264 規格の 4:4:4、4:2:2、および 4:2:0 の何れかに対応する、請求項 1 に記載の装置。

**【請求項 12】**

画像ブロックのためのビデオ信号データを符号化するための方法であって、前記ビデオ信号データの色成分を、それらに残差色変換を適用することなく符号化するステップを含む、前記方法。

**【請求項 13】**

前記ビデオ信号データの色成分上で色変換を選択的に実行するための、符号化前ステップをさらに含む、請求項 12 に記載の方法。

**【請求項 14】**

前記符号化前ステップによって実行される前記色変換が、非残差色変換である、請求項 13 に記載の方法。

**【請求項 15】**

前記符号化前ステップが、前記ビデオ信号データに対応する原画像上で前記色変換を実行する、請求項 13 に記載の方法。

**【請求項 16】**

前記符号化前ステップが、RGB フォーマットまたは任意の非 RGB フォーマットで前記符号化ステップに前記ビデオ信号データの変換色成分を提供する、請求項 13 に記載の方法。

**【請求項 17】**

前記符号化ステップが、共通の予測器を使用して、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてを符号化する、請求項 12 に記載の方法。

**【請求項 18】**

前記共通の予測器が、前記ビデオ信号データの輝度および色度成分の両方に対して使用される輝度予測器である、請求項 17 に記載の方法。

**【請求項 19】**

前記符号化ステップが、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてに対して共通の空間予測モードを使用する、請求項 12 に記載の方法。

**【請求項 20】**

前記共通の空間予測モードが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H.264 規格の `prev__intra8x8__pred__mode__flag`、`rem__intra8x8__pred__mode`、`prev__intra4x4__pred__mode__flag`、および `rem__intra4x4__pred__mode` パラメータによって設定される、請求項 19 に記載の方法。

**【請求項 21】**

前記符号化ステップが、B フレームおよび P フレームについて、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてに対して共通の補間フィルタを使用する、請求項 12 に記載の方法。

**【請求項 22】**

前記ビデオ信号データのサンプリングが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H . 2 6 4 規格の 4 : 4 : 4 、 4 : 2 : 2 、および 4 : 2 : 0 フォーマットの何れかに対応する、請求項 1 2 に記載の方法。